

# 広報 いいで

4

11, April  
2013  
Vol.1033

夢と希望に満ちた入学式

写真 / 4月8日に行われた飯豊中学校入学式。同級生65名と共に式に臨む、中津川小・中学校を卒業した鈴木朋幸君。(手前)

- 03 特集◎中津川小・中学校閉校  
地域に育てられ、地域と共に歩んだ学び舎の閉校／万感の  
思いを胸に式に臨む／新たな旅立ち
- 10 平成25年度の施政方針と予算  
町政運営の基本方針と主要な施策の概要／町の予算
- 14 ひと目でわかる！ 役場利用ガイド  
各部署はどの建物にあって、何を担当しているのか／職員  
はどのように配置されているのか／施設の位置図
- 19 嶋貫吉晴副町長就任
- 20 空き家等の適正管理に関する条例
- 22 まちかどNEWS  
飯豊町青少年少女合唱団「ミルキーウェイ」コンサート／ひこ  
うきのお話と紙ヒコーキ教室／地域の方に感謝の会ほか
- 24 スナップショット
- 25 防災機能強化と地球温暖化対策への取り組み
- 26 直伝おふくろの味
- 27 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 28 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 29 健康 ikiiki プラス
- 30 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 32 町宝いいで ダイジェスト

## 町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。  
大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。  
どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



[www.town.iide.yamagata.jp](http://www.town.iide.yamagata.jp)



the most beautiful  
villages  
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。  
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

### 今月の 表紙

#### 新入生66名を迎え 飯豊中学校入学式挙行



式の最後に、上級生と共に中学校校歌を合唱する新入生

4月8日、飯豊中学校体育館で入学式が行われました。町内5つの小学校を卒業した66名は、真新しい学生服に身を包み、吹奏楽部の伴奏に合わせて入場。来賓や保護者、教職員などに見守られ、中学生としての第一歩をスタートさせました。井上翔生徒会長は「部活動や勉強の両立は大変ですが、同時に、今まで以上の達成感と楽しさがあります」と上級生らしい歓迎の言葉を贈りました。

# 中津川小・中学校閉校

**飯豊町立中津川小・中学校は、3月をもって閉校し、4月から  
手ノ子小学校と飯豊中学校にそれぞれ統合されました**

中津川地域にとって学校は、児童・生徒の勉学の場にとどまらず、地域への愛着をも育てる場でもありました。地域住民は積極的に学校と子どもたちに係わり、三者の間には強い信頼関係が築かれました。そのような「地域の学び舎」が3月で閉校しました。

中津川の方々はいつまでも下を向いてはいません。現実を受け止め、今よりもっと輝く中津川をつくりだそうと、気持ちを奮い立たせています。

学校の歴史を振り返るとともに、各種式典の様子、そして、今後の中津川地区の地域づくりのキーマンとなる方のインタビューをお伝えします。



2月23日開催の中津川雪祭りで、夜空に舞い上がった紙風船に描かれた中津川小・中学校最後の児童、生徒、先生方の似顔絵。

# 地域に育てられ、地域と共に歩んだ学び舎の閉校や

## 刻んだ歴史に幕

140年の歴史を誇る「飯豊町立中津川小・中学校」。子どもたちの教育環境がより良く、充実したものとなるように、この春から手ノ子小学校と飯豊中学校にそれぞれ統合されました。

歴史をさかのぼると、小学校は明治5年（1872年）に上原の「雲洞庵」を借りて創立され、中学校は昭和22年（1947年）に上原の「中津川村立中津川小学校」に併設されて創立されました。そして、平成9年に小・中併設の学校として下屋地に「飯豊町立中津川小・中学校」が開設されました。

この間、地域内の子どもの数が増えるにつれ、小学校は、明治後半から分教場や分校、冬期分校などが広河原、小屋、須郷、岳谷、岩倉、小坂などに次々と開校されました。また、中学校でも、創立の年（昭和22年）に岩倉に分教場が開校し、その後も岳谷や小坂に冬季分校が開校されました。そして、飯豊村と中津川村が合併し飯豊町が誕生する頃には、児童・生徒数は最大となり、昭和33年に小学生507名、昭和37年に中学生262名を数え、地区の人口は3000人を超えていました。

このような状況の中、昭和39年には須郷分校が小学校に昇格しました。教職員の多くは地区外から来ており、職員住宅の瑞穂寮（昭和56年竣工）が建設されるまでは、地域の方の家に下宿しながら教壇に立っていました。

右肩上がりに増え続けた地域内の人口は、経済活動の変化や社会の変化などにより昭和の中ごろに減少に転じ、昭和40年代の白川ダム建設工事を機に拍車がかかりました。昭和50年代に入ると分校の閉校が相次ぎ、平成16年の小屋分校閉校により、中津川地区にはこのたび閉校する小中併設学校1校となりました。

児童・生徒が減少する状況においても、子どもたちのひた向きな努力と教職員の献身的な指導、そして地域の方々が積極的に学校に協力したことに、子どもたちは個性を磨き才能を開花させ、各種コンクールやスポーツ大会など文武両面で優秀な成績を収めました。学校としても各種の賞を受賞し、昭和57年には小学校が健康優良学校文部大臣表彰を受賞、中学校が健康優良学校優秀賞を受賞しました。

このように輝かしい歴史は「地域の子どもたちは地域で育てる。子どもたち

ちをもっと輝かせたい」との思いを、地域住民が共有して生まれた「地域の教育力」が大きく影響しています。

中津川地域にとって学校は、児童・生徒の勉学の場にとどまらず、地域への愛着をも育てる場でもありました。学校と地域は、それぞれの活動において補足し合いながら相互に影響を及ぼし合ってきました。たとえば、運動会、文化祭、地域の祭り、地域学習などは、学校と地域が一体となって行われてきました。学校では教育活動の活性化が図られ、地域では活力向上につながりました。

地域に育てられ、地域と共に歩んだ中津川小・中学校も、時代の趨勢には抗しがたく、3月31日をもって閉校しました。思い出多き学びの閉校によって、児童生徒、同窓生、教職員、地域の方々などは大きな喪失感を抱いたことでしょう。しかし、閉校が決まってきたからの中津川地域は、現実と正面から向き合い、学校の有終の美を飾ろうと地域一丸となった取り組みが行われました。

このたびの閉校が、中津川地区のより良い未来への新たな一歩となることを願います。



飯豊町立中津川小・中学校の校舎。校庭から校舎を臨む



今年3月建立の飯豊山をかたどった閉校記念碑



中学校 校旗



小学校 校旗



小学校の授業。いつも先生は僕の前においてくれる



小・中学校と中津川地区の合同で行う運動会

*By a hometown  
With a hometown*



白川ダム湖畔マラソン大会で  
集合写真



先生方と同じテーブルで食べる給食



地域の方を招いた学習

# 万感の思いを胸に式に臨む



## 最後の卒業証書授与式



- ①「いつかこの海をこえて」を児童・生徒、教職員で合唱
- ②卒業児童・生徒の門出を祝う花のトンネル
- ③最後のホームルーム



### 最後の卒業証書授与式

3月16日、穏やかな春の日の光が差し込む中津川小・中学校体育館で、最後の卒業証書授与式が挙行されました。

午前9時30分から開始された式には、卒業児童1名、卒業生徒3名、在校生4名、教職員、保護者、山村留学生の里親や来賓など53名が出席。齋藤芳昭校長が一人ひとりに卒業証書を手渡しました。

式辞に立った齋藤校長は「皆さんの前にはたくさんの可能性が溢れています。しかし、その可能性をいくつも選ぶことはできません。人生はたった1つの可能性を選び、他をすてる連続。たった1度の人生です。生きる尊さをしっかり理解して学びやを巣立ち、新たなステージで思う存分活躍してください」と述べました。

来賓祝辞として、後藤幸平町長は「全国でも類を見ない、地域の教育力」を持った中津川地区。その中で成長した皆さんからは、高い志が感じられます。長い人生の中で、失敗がないとは言えませんが、失敗を恐れずに自らの夢の実現のために、地道な努力を続けてください」と述べました。

続いて伊藤満世子PTA会長は「8人の子どもたちは中津川小・

### Graduation ceremony

中学校の選ばれし最後の児童・生徒として、自信と誇りを胸にそれぞれが十分に個性を發揮し、何事にも前向きに頑張りました。これからも中津川人としての誇りを胸に、自分の力を信じて、周りの人を引っ張ってくださるような人になってくれることを期待しています」と述べました。

その後、卒業児童・生徒たちは、将来への希望とともに、在校生や先生方、家族、地域への感謝の言葉を述べました。在校生は、思い出のエピソードを交えて感謝の気持ちを伝えました。そして、全児童・生徒、教職員で「いつかこの海をこえて」を合唱しました。

式が終わると、それぞれのクラスでは、最後のホームルームが行われました。恩師からの最後の言葉、児童・生徒たちからの感謝の言葉。別れを惜しむ両者の目には溢れんばかりの涙が光っていました。

この日のファイナレには、在校生が企画したサプライズが用意されていました。玄関先には式参列者の協力を得て幾重にも花のアーチが並び、さながら花のトンネルその中を、卒業児童・生徒たちは驚きながらも笑顔の花を咲かせながら通り抜け、新たなステージへ旅立ちました。



# 閉校記念式典



- ①閉校を惜しみ詰めかけた300人を超える式典列席者たち
- ②地域について学習した成果を発表した児童・生徒
- ③卒業生も加わり、中津川小・中学校の最後の「よさこいソーラン」



## 閉校記念式

3月24日、午前9時30分から中津川小・中学校体育館で、閉校記念式が挙行されました。式には、全校児童・生徒、保護者、教職員、住民、歴代の校長・教職員、卒業生、町関係者など約300名が出席しました。

式辞に立った後藤幸平町長は「閉校に寄せる思いとして記念碑に『蛍雪を経て大河に向かう』とたたためました。蛍雪とは、厳しい環境にたくましく挑み、蛍の光や窓の雪を明かりにして学ぶ姿を表します。いく星霜の蛍雪の時を経て、今新しい流れに向かいます。そして鮭がふるさとの川を遡上するように、必ずやこの地に活力ある実りの渦が新たに生まれることを地域と共に目指します」と式辞を述べました。

齋藤校長のあいさつでは「山間の小さな学校ゆえに、本校は地域と一体となって特色ある教育活動を展開してきました。最後のタスキを託された子供たちは自分たちの使命と役割を自覚し、この1年大きな成長をとげました。地域に感謝する気持ちは、必ずや中津川で生きる誇りと自信となって自らを成長させてくれるでしょう。中津川人としてふるさとの明日を力強く創造してくれることを願いま

す」と述べました。

児童・生徒を代表して高橋未咲児童・生徒会長は「僕たちは中津川小・中学校の最後のランナーとしての誇りを持ち「いよいよ！8つの力」を児童生徒会スローガンに掲げ、自身の力を磨き、地域の方や家族、学校への感謝を胸に充実した生活を送ってきました。閉校に際し、この学校で培ってきた力をこれからの生活に生かし、堂々と未来に進んでいくことを約束します」と力強く決意を述べました。

## Closing a school ceremony

式典が終了すると、子どもたちによる学習発表とよさこいソーランの披露。学習発表では、中津川地区住民へのインタビューを通して「将来何になりたいか、なぜになりたいかという将来の夢が具体的になった」と学習の成果をまとめました。また、よさこいソーランの舞が始まる前に「先輩方から引き継いだヨサコイをこのメンバーで披露するのも今日が最後になりました。これまで支えてくださった方々に感謝を込めて！」と安部真人部長が児童生徒の思いを代弁しました。2曲目では、8名の卒業生が加わり、より力強くダイナミックな舞となりました。舞が終わると、参列者から感激の拍手が沸き起こり、しばらくの間会場に鳴り響きました。

# 新たな旅立ち

## New start

中津川地区の方々には、閉校の現実をどう受け止め、今後の地域づくりをどのように進めていくのかを、お二人からお聞きしました。

中津川地区最大の組織であり、地域づくりの要である中津川むらづくり協議会の伊藤和憲会長と、飯豊町立中津川小・中学校最後の児童生徒会長としての重責を担いその使命を果たした高橋未咲君です。

中津川小・中学校は、中津川における教育の拠点であるとともに、子どもたちと地域住民そして住民同士を強く結びつける地域づくりの拠点でもありました。社会情勢の変化とはいえ140年の歴史を誇る学校が無くなるのは寂しく残念です。この学校は、常に子供たちを主役とし、地域が積極的に教育活動にかかわりを持ち、活気溢れる学校でした。本当に素晴らしく、日本一の学校だと思います。

閉校の重責を担った8名の子どもたちは、伝統と言うたすきをつなぐ最後の児童・生徒として仲間と切磋琢磨しながら勉学や運動に励み心身

ともに大きく成長しました。それぞれの道を歩み、沢山の事を学び力をつけて全員が中津川に帰ってきて、また一つになって輝いて欲しいと思います。

閉校により学校という器は無くなりますが、これまで培われた中津川の教育力は無くなることはありません。中津川っ子はいます。他校へ通学しようとも今まで通り、みんなで声をかけ合い、見守っていきましょう。

沈んだ気持ちで暮らすよりも、現実を受け止め、みんなで新たな一歩を踏み出したい。中津川はそれができる地域だと信じています。未来を展望し、心一つにして中津川の輝かしい未来を共に創造しましょう。

先生や地域の方との関係が深く、いつも「みんなで生活している」という気持ちになれた中津川小・中学校。この学びやお別れすることは、とても寂しく悲しいことです。

お世話になった方々をお招きして開催した「感謝の会」。中津川らしい和気あいあいとした雰囲気の中でたくさんの笑顔に囲まれて会食しました。僕はあの時のみんなの顔を忘れません。僕たちが、いかにたくさんの方々に支えられていたのかを実感することができました。

学校と地域に育てていただいた私たちにとって、地域の方をお招きして開催する行事は、地域の方に感謝

を伝える場です。一つ一つの行事を大切に、一生懸命感謝を表現してきました。ただ、行事が終わるたびに、閉校が近づいていることを強く感じざるを得ませんでした。

4月から私は、夢を達成するために県外の学校に入学します。新たな世界で出会う多くの人に、これまで地域の皆さんからいただいた親切、助け、協力をつないでいきたいと思います。それが地域の方への恩返しになると考えています。そして、私は中津川が大好きなので、必ずここに戻ってきて私の家族のようなあったかい家庭を築いて、ここで暮らし続けます。



中津川むらづくり協議会  
会長 伊藤和憲



飯豊町立中津川小中学校  
児童生徒会長 高橋未咲



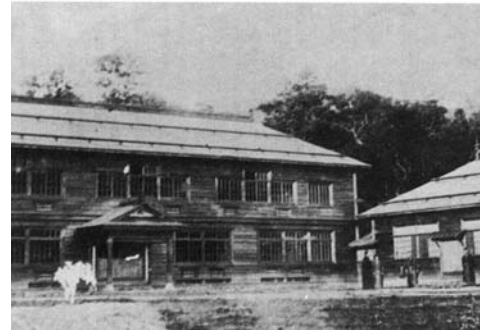


## 主な学校沿革

年 度	主 な 出 来 事
明治 5年	■上原の雲洞庵を借りて中津川学校を開設
9年	○置賜県が山形県に統合
14年	■中津川学校を下屋地に設立（上野にあった郷倉を改造）
22年	○中津川村誕生
30年	■広河原に冬期分教場設置
42年	■中津川尋常小学校校舎を上原に新築
43年	■中津川尋常高等小学校校認可（高等科2年設置） ■小屋分教場、須郷分教場認可（尋常科6年まで）
大正 8年	■岳谷分教場建築（通年の分教場だが、夏期分の経費は部落負担）
昭和 9年	■岳谷分教場通年開設
12年	■広河原冬期分教場開設
15年	■岩倉冬期分教場、小坂冬期分教場開設
16年	■中津川村国民学校と校名変更
17年	■広河原冬期分教場が常設となる
21年	■岩倉分教場開設（初等科4年まで）
22年	■中津川村立中津川小学校と校名変更 □中津川村立中津川中学校開設（小学校に併設） □岩倉分教場開設
23年	■岳谷一本松分教場冬期開設
24年	□小屋分校場開設
25年	■岳谷一本松分教場常設となる
26年	■中津川小学校学園歌制定 （のちに飯豊町立中津川小・中学校校歌となる）
29年	■岳谷一本松分校休校
30年	■岳谷一本松冬期臨時分校開設
31年	■岳谷一本松臨時分校廃校
33年	○中津川村と飯豊村の合併により飯豊町誕生 ■飯豊町立中津川小学校と校名変更 □飯豊町立中津川中学校と校名変更 □岳谷・小坂冬期分校閉校 ■児童数最多となる507名
34年	□中学校校舎を上原に建設 （跡地には現在雪室施設が建っている）
35年	□小屋分校廃止し本校に統合
37年	□生徒数最多となる262名
39年	■須郷分校が須郷小学校に昇格し、飯豊町立須郷小学校となる ■広河原分校と小屋分校は須郷小学校の分校となる
42年	○羽越水害
46年	■須郷小学校閉校 ○白川ダム建設が始まる
47年	■須郷小学校、広河原分校、小屋分校が中津川小学校の分校になる
51年	■岳谷分校閉校
52年	■鉄筋コンクリート2階建ての本校舎完成 ■広河原分校閉校
54年	○白川ダム工事完了
56年	■□教員宿舎「瑞穂寮」竣工
平成 4年	■岩倉分校閉校
5年	■小屋分校休校
9年	□併設小・中学校開設 □中学校校舎新築、小学校校舎大規模改修
16年	■小屋分校閉校 □短期山村留学実施
17年	□長期山村留学生受け入れ始まる
24年	□閉校記念式典

■小学校 ■小学校の分校など □中学校 □中学校の分校など □小中学校 ○学校以外の出来事

## History



明治42年ごろの中津川尋常小学校



昭和22年中津川村立中津川中学校開設  
(中津川村立中津川小学校に併設)



分校から小学校に昇格した須郷小学校の  
全景（昭和39年ごろ撮影）



旧飯豊町立中津川中学校の全景  
(現在、校舎跡地には雪室施設が建つ)



## 町政運営の基本方針と 主要な施策の概要

施政方針と予算

各部署の担当業務

職員の配置

施設の位置図



写真/子どもたちの笑顔の写真を張り合わせて作った「にぎわいスマイルアート」

### 未来を創るのは地域の力、地域の力は人間の力

## 施政方針

平成25年度

明確なビジョンと行動計画が  
社会を動かす時代

町長 後藤幸平

2期目の旗印に「ふるさと新時代」を掲げました。都市の繁栄が社会を支えると同時に、農村活力の維持と増進が持続可能な社会を保障し、農村が人口減少傾向から軌道を修正し回復することへの期待を込めたものです。

歴史に「もし」はなく、過去の事実とはもはや変えることは出来ません。しかし、未来は創ることができます。未来を創る力は地域の力であり地域の力は人間の力です。森と田園を大切に、交流を深め、資源を生かし、産業を興す。暮らしを豊かにして、子どもたちの声がちまたに溢れるようなふるさとづくりをめざします。

「にぎわい再現」には、人口対策が重要です。年少人口の増加を目指すとともに、雇用拡大や仕事づくり、音楽や芸術を楽しむ場、交流とふれあいの場所づくり、住宅地造成などを通じ、若者の定住対策に取り組めます。

地域内雇用の拡大に向け、「町地域雇用創造推進協議会」と連携し、地域資源を生かした産業創出を進めます。

また、「町中小企業振興条例」に基づき、全産業との連携強化と適切な支援を推進し、雇用の場の確保を進めます。農業の振興は、町の活力の源です。

水稲・畜産・アスパラガスなどの主力品目の拡充やブランド化などを支援し、農業経営の安定化に努めます。

6月の林道飯豊松枝岐線の開通による福島県会津地域との新たな交流や、農都交流型ツーリズムによる都市部の企業などとの交流の活性化に向け、地域と一体となって、農山村でこそできる活動を進めます。また、受け入れ態勢の確立と滞在型観光メニューの開発をさらに進めます。

学校教育については、第一小学校の改築に向けて基本設計と実施設計に着手し、子どもたちが元気に楽しく勉強や運動ができる環境整備に努めます。

近年、全国各地で大規模な災害が発生しており、本町においても災害発生の備えは怠ることなく継続していくべきものです。自主防災組織の育成や組織化率向上に努めるとともに、地域防災計画を見直し災害に強いまちづくりを推進します。

常に内外の情勢変化を敏感に捉え適切な対策を講じ、住民のために働く行政であることを職員全員が認識し、住民の期待に応える公正な行政運営に努めます。

(平成25年度施政方針) から一部抜粋し要約

## 主な重要施策

重要施策の中から一部を抜粋して紹介します。

### 『語り合うまちづくり』

#### 人口減少に歯止めをかける

- ▷新たに「飯豊町ふるさと定住いいですね条例」を定め、定住など奨励
- ▷地域内雇用の拡大に向け、「飯豊町地域雇用創造推進協議会」と連携し、従来の農林業や伝統的地場産業などの地域資源を生かした産業創出を推進
- ▷「飯豊町中小企業振興条例」により、全産業との連携強化と適切な支援を推進

#### 暮らしの利便性を向上

- ▷新たな水源地確保に向けた調査の継続

### 『耕すまちづくり』

#### 町民所得の安定と向上

- ▷創設した支援措置により、アスパラガス産地としての地位確立とブランド化を目指す
- ▷米沢牛の生産から流通に関する研究会を組織し、ブランド力向上と、米沢牛の定義改定への対応を図る
- ▷農家所得向上を目指し、町独自の生産振興助成や果樹苗木助成などを行い、収益性の高い作物の生産振

興を図る

- ▷「公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針」を定め、地場産木材の需要拡大を推進
- ▷都市部の企業などとの交流事業の定着に向け、受け入れ態勢の確立と商品の開発を推進
- ▷林道飯豊桧枝岐線の開通を契機に、地域と行政が一体となって森林保全、林業振興、滞在型観光などによる地域活性化を推進

### 『育てるまちづくり』

#### 子育てへの施策

- ▷第三子以降の保育料の無料化および保育料軽減に関する要件緩和と子育て支援医療給付制度により中学生までの医療費の無料化を継続

#### 子どもの教育

- ▷第一小学校の平成27年度中の全面改築工事完了を目指し、基本設計と実施設計に着手

#### 町民の健康維持増進の取り組み

- ▷40歳から74歳までの方の検診負担を引き下げ、特定健診の受診を促進

#### 消防防災への取り組み

- ▷地域防災計画を見直し災害に強いまちづくりを推進

## 主な事業の概要と予算額

#### ●第一小学校改築事業／7,788万円

平成27年度の改築（新築）完成を目指して、校舎と体育館建設に関する基本・実施設計を取りまとめる

#### ●学校支援員配置／1,267万円

特別支援学級をはじめ、問題を抱える児童生徒の学習活動の支援や補助を行う支援員を各小中学校に総勢7名を配置

#### ●いいですね定住推進事業／1,299万円

住宅取得への支援や、結婚・出産・入学など人生の節目にお祝いを贈り、「ふるさといいで」への誇りと愛着の向上を図る

#### ●老朽危険空き家対策事業／508万円

住民生活の安全・安心、生活環境の保全・改善、景観保全を目的に、老朽危険空き家の解体に対し補助金を交付（詳細20頁）

#### ●膝痛予防研修事業／119万円

膝に悩みを抱える高齢者を対象に膝痛予防体操を開催

#### ●在宅高齢者口腔点検事業／44万円

寝たきりの高齢者などを対象に、歯科衛生士による口腔点検を実施

#### ●雇用対策事業／1億584万円

町内の雇用情勢が厳しい中、県が造成した基金を活用し、離職を余儀なくされた失業者などの一時的な雇用機会を創出

#### ●工業振興事業／1億981万円

町内企業の健全な発展と経済の活性化を図るため、新製品・新技術開発や設備投資などの必要経費に対し補助金を交付

#### ●アスパラガス産地拡大推進事業／500万円

アスパラガス産地として生産額拡大を目指し、販売目的のための新規植栽及び改植に対しての苗購入等に助成

#### ●住宅リフォーム支援事業／1,500万円

住宅リフォーム工事費の20%（上限40万円。町外業者であれば15%（上限30万円））、耐震工事費の50%（上限120万円）を補助

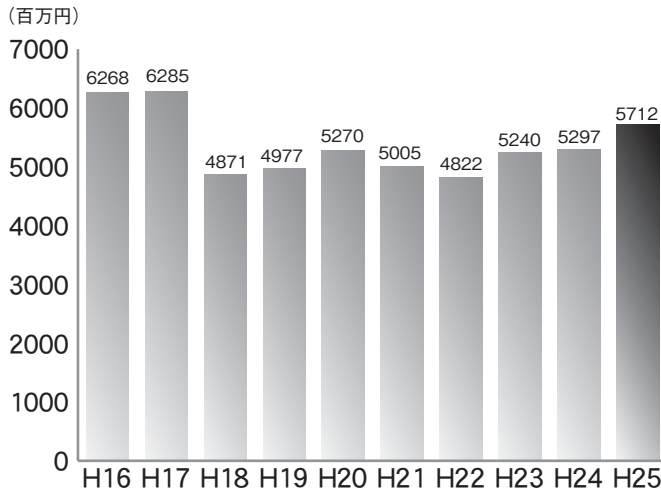
#### ●大規模林道飯豊桧枝岐線開通事業／40万円

6月8日イベント開催、15日開通記念式典開催

#### ●里山林整備事業／416万円

森林すそ野の下刈りや除伐を行い、里山景観保全と、里山の森林の区別化を進め野生動物との緩衝地帯形成を図る

一般会計当初予算の推移



町の予算

the town budget

最少の経費で最大の効果を

予算編成の基本方針

持続可能な財政運営を確保するために「最少の経費で最大の効果をあげる」という行財政運営の基本に立ち、地域の経済や雇用、暮らしなど当面する政策課題への対応に重点的かつ効率的な配分に努めました。

編成した一般会計予算は、前年度と比較し7.8割増の57億1200万円となりました。

また、一般会計と各特別会計および水道事業会計を合計した町の予算総額は、前年度と比較し4.9割増の91億6544万円となりました。

一般会計予算

歳入の主なものをみると、町税は、たばこ税の増加などで前年度比0.2割増の6億309万円、地方交付税は前年度比2.1割増の28億8678万5千円、町の借金である町債は前年度比19.6割増の5億7400万円となっています。

歳出を性質別にみると、人件費は職員数の削減などにより、前年度比4.8割減の9億5344万4千円となっています。また、公債費は過疎対策事業債などの償還終了に伴い3.1割減の8億14

各部署の担当業務

職員の配置

施設の位置図

一般会計総額57億1,200万円、前年度から7.8%増

5万3千円となっています。扶助費は老人世帯除雪費支給などの増加により、1.2割増の4億3424万1千円となっており、義務的経費（人件費・公債費・扶助費）は予算総額の38.3割を占めています。

物件費は雇用対策事業などの増加により前年度比5.4割の増、補助費等は工業振興助成事業などの増加により14.5割の増、繰出金は農業集落排水事業特別会計への繰出が増加するなど5.0割の増となっています。

投資的経費は、社会資本整備総合交付金事業（道路橋梁整備）や第一小学校改築事業などに組み込むことから前年度比55.1割の大幅な増となっています。

また、歳出を目的別にみると、商工費は工業振興助成事業などにより274.2割、労働費は雇用対策事業により66.6割の増となっています。災害復旧費は災害箇所減少により30.4割、議会費は議会議中継システム整備終了などにより3.8割の減となっています。

特別会計・事業会計予算

各特別会計および水道事業会計全体の予算額は34億5344万円で前年度比0.3割の増となっています。

予算の使い道について、国民健康保険特別会計は椿と中津川の診療所管理運営や保険給付費などが主なものです。

後期高齢者医療特別会計は、山形県後期高齢者医療広域連合への納付金がほとんどを占めます。

介護保険特別会計は、保険給付費が全体の約94割を占めています。

訪問看護特別会計は、各家庭での介護ケアに当たる看護師などの人件費が主なものです。

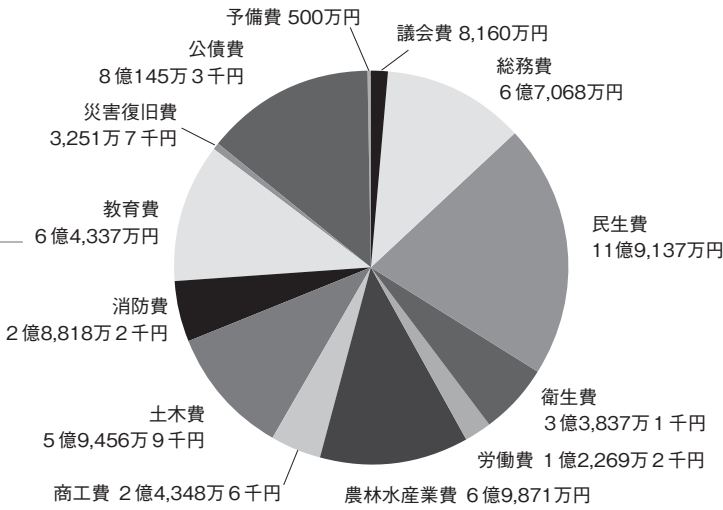
介護老人保健施設特別会計は、「美の里」の管理運営と公債費が主なものです。

5つの財産区のうち、添川財産区では一般会計繰出金を計上して、東部地区活性化事業に取り組みます。

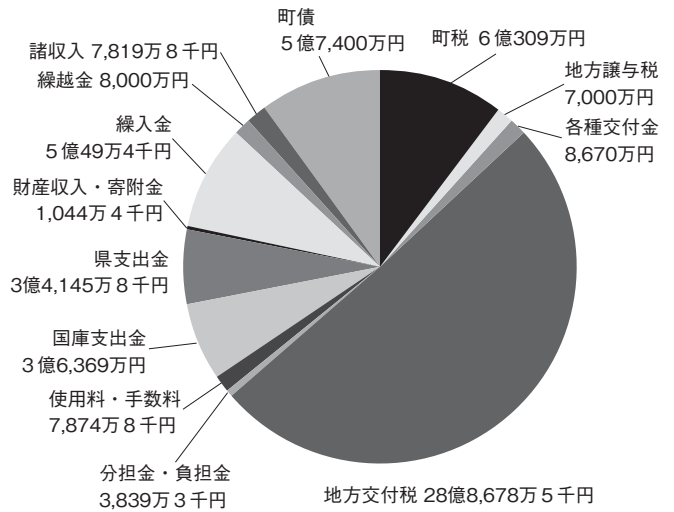
農業集落排水事業特別会計は、添川地区および手ノ子地区管路施設の建設に取り組みます。生活排水個別処理事業特別会計は、浄化槽維持管理のほか、引き続き町設置浄化槽整備事業に取り組みます。水道事業会計は、水道施設維持管理に努めるとともに、ライフライン機能強化事業で基幹水道構造物の耐震化などに取り組みます。

# 一般会計

## 歳出 57億1,200万円



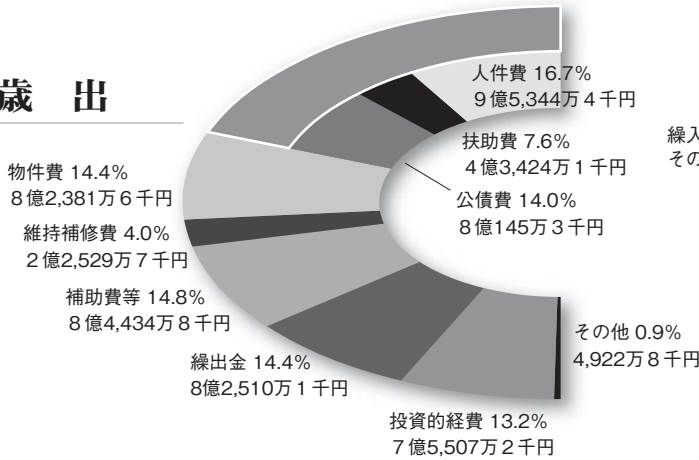
## 歳入 57億1,200万円



## 一般会計予算額の構成

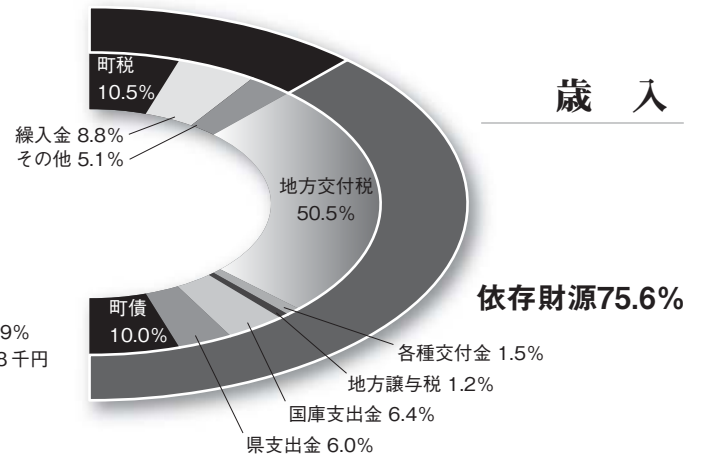
### 義務的経費38.3%

#### 歳出



### 自主財源24.4%

#### 歳入



### 依存財源75.6%

## 特別会計・事業会計

(単位：千円、%)

本年度予算額 前年度予算額 前年度対比

本年度予算額 前年度予算額 前年度対比

項目	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
国民健康保険	869,791	812,860	7.0
直診勘定	141,532	141,364	0.1
後期高齢者医療	79,007	80,560	▲1.9
介護保険	1,035,109	1,003,265	3.2
訪問看護	17,649	17,948	▲1.7
介護老人保健施設	300,568	292,355	2.8
物品調達	16,341	17,261	▲5.3
萩生財産区	419	389	7.7

項目	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
豊原財産区	319	311	2.6
添川財産区	7,093	5,184	36.8
豊川財産区	184	233	▲21.0
中津川財産区	6,586	7,593	▲13.3
農業集落排水事業	630,296	606,450	3.9
生活排水個別処理事業	58,580	47,773	22.6
水道事業	201,731	201,119	0.3
損益勘定	201,731	201,119	0.3
資本勘定	88,235	207,143	▲57.4

施政方針と予算

各部署の担当業務

職員配置

施設位置図



## 各部署はどの建物にあって、何を担当しているのか

section's affairs

### 役場庁舎

TEL 72-2111(代) FAX 72-3827

#### 役場内にある部署の主な業務

#### 1 階

##### 住民税務課

**住民室**／戸籍、住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録、埋火葬の許可、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金

**生活環境室**／交通安全、環境衛生、環境保全、廃棄物処理、住民相談、墓地、犬の登録、公共交通、消費者行政、空家対策

**税務室**／住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、町税の納税支援

**会計室**／町公金支払い、現金の出納、物品の管理、指定金融機関

##### 地域整備課

**建設室**／道路、橋梁、河川、建築確認、町営住宅、公共土木施設災害復旧工事、除雪

**上下水道室**／水道、水道料金、水道開栓・閉栓、農業集落排水、農業集落排水使用料、合併浄化槽、個別処理使用料

##### 教育委員会・教育文化課

**学校教育振興室**／教育、学校、スクールバス、学校給食、奨学金

**生涯学習振興室**／生涯学習、公民館、文化財、生涯スポーツ、青少年健全育成

**子育て支援室**／子育て支援、幼稚園、保育園、児童虐待防止

※まちづくり室は町民総合センター「あ〜す」内

#### 2 階

##### 総務企画課・選挙管理委員会事務局

**行政管理室**／町長秘書、法令、選挙、自治組織、入札、町有財産、統計、個人情報保護、指定管理者制度の施行

**総合政策室**／座談会、陳情要望、地域活動支援、財政、予算、総合計画、土地利用計画、NPO、男女共同参画

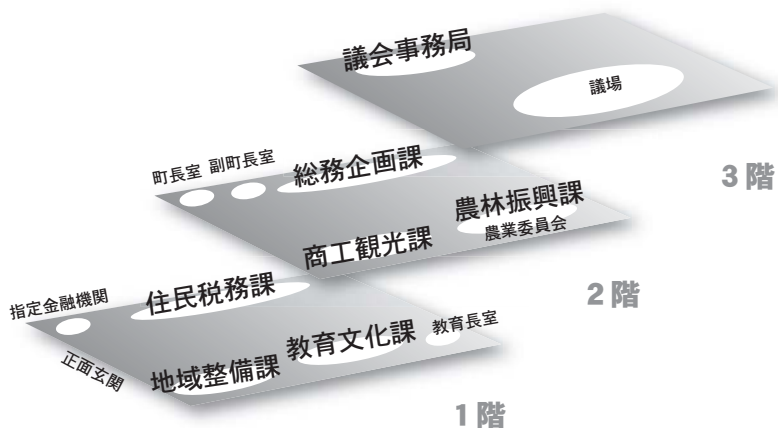
**情報防災室**／消防、防災、遭難対策、国民保護、広報、情報化

##### 農林振興課

**農業振興室**／農業振興、生産調整、農業経営、畜産振興、地産地消

**農林整備室**／農地保全、農村環境

#### 役場庁舎内各課の配置



整備、財産区、林業振興、山林保全、治山、治水、砂防

**農地管理室**／農業委員会、農地の権利、農地転用、農業者年金、新規就農支援、担い手

##### 商工観光課

**産業連携室**／商業、工業、雇用、労働者、飯豊ブランド創設、第6次産業化推進

**観光交流室**／観光、観光開発、特産品、観光物産、第3セクター、白川ダム、グリーンツーリズム

#### 3 階

##### 議会事務局・監査委員

町議会、町行政と財務の監査

役場庁舎の土・日・祝日の出入り口は、庁舎裏側玄関の南側です

◆問合せ先／役場総務企画課行政管理室 ☎72-2111内線223

施政方針と予算

各部署の担当業務

職員配置

施設の位置図

# 組織機構の改編の大要

## ○部署の新設

・産業振興課を「農林振興課」と「商工観光課」に分け、商工観光課に、「産業連携室」と「観光交流室」を設けました。産業連携室は、実践型地域雇用創造事業による雇用創出と飯豊ブランド、第6次産業化に関する企画立案・窓口となります。観光交流室は、滞在型交流事業の定着に向け、受け入れ態勢の確立と商品開発を進め、交流人口を増やし地域経済の活性化を目指します。

・総務企画課に「情報防災室」を設け、住民税務課から防災・減災業務を移管し、情報と結びつけた防災・減災体制の強化を図ります。また、庁内における情報セキュリティの強化を図ります。

## ○課名、室名の変更

・商工観光課の新設により、産業振興課を農林振興課に改めます  
・総務情報室を行政管理室に改めます

## ○室の統合

・税に関する賦課と徴収の一元管理を図るため、税務室と納税支援室を統合して税務室とします

## 健康福祉センター

### ●健康福祉課

福祉室・地域包括支援センター ☎86-2233 ☎86-2230  
健康医療室 ☎86-2338 ☎86-2230

●訪問看護ステーション ☎86-2232 ☎86-2229

●国保診療所 ☎72-2300 ☎72-3375

●介護老人保健施設「美の里」☎86-2117 ☎86-2118

介護老人保健施設  
「美の里」



## 健康福祉課の主な業務

### 健康福祉課

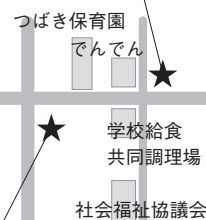
#### 健康医療室

医療、健康推進、健康診断、予防接種、母子保健、感染症予防、食生活改善

福祉室／高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、介護保険、高齢者総合相談窓口、  
介護予防、地域包括支援センター

訪問看護ステーション／訪問看護（主治医の指示による療養上の世話・診療補助）

MAP／椿地内



## 町民総合センター

### ●町民総合センター「あ～す」

まちづくり室・図書室 ☎72-3111 ☎72-3163

●こどもみらい館 ☎72-3336

## まちづくり室の主な業務

### 教育委員会・教育文化課

まちづくり室／町民総合センター管理・運営、音楽からのまちづくり、文化振興、  
芸能、めざみの里まつり、にぎわい再現プロジェクト



**保育園・幼稚園**

- つばき保育園**  
園長 須貝喜代子  
主査 館石みゆき  
主査 藤川典子  
主査 鈴木美紀子<sup>(異)</sup>  
主任保育士 志田登紀子  
保育士 安部早苗  
保育士 奥村唯  
調理師 渡辺豊子
- さゆり保育園**  
園長 鈴木真理子  
主査 長沼静子  
主査 井上弘子  
主査 渡部銘子  
主任保育士 後藤恵美子  
主任保育士 遠藤理恵子  
調理師 五十嵐信子<sup>(異)</sup>
- いいで中部幼稚園**  
園長 菊地文子<sup>(異)</sup>  
主査 伊藤やよい  
教諭 岡田恵美
- 手ノ子幼稚園**  
園長 熊野伸子<sup>(異)</sup>  
主査 高世恵美子  
主任教諭 八島秀子
- 添川児童センター**  
館長 横澤喜美子  
主査 佐藤麻理子<sup>(異)</sup><sup>(男)</sup>
- こどもみらい館**  
館長 長岡とし子

**学校技術員**

教育文化課学校教育振興室所管  
飯豊中 菅野学

**健康福祉センター**



所長(医師) 大滝雄造<sup>(派)</sup>  
(併)介護老人保健施設長



(兼)事務長 嘉藤正憲<sup>(異)</sup>

主査 後藤智美  
主任看護師  
齋藤亜希子<sup>(派)</sup>  
看護師 渡部みゑ子<sup>(派)</sup>  
看護師 高橋紀子<sup>(派)</sup>

**健康福祉課**



課長 渡部恵介<sup>(異)</sup>

(兼)地域包括支援センター  
所長／(兼)訪問看護ステーション所長

**健康医療室**

室長 伊藤紀代子  
主任保健師 渡部真知子  
保健師 遠藤悦子  
保健師 小松聡美<sup>(新)</sup>  
保健師 伊藤明美<sup>(新)</sup>

**福祉室**

室長 志田庸子  
主査 色摩里香  
主査 渡辺裕和  
主事 井上由佳  
主事 嵐正人  
主事 嶋貫朋美<sup>(新)</sup>  
保健師 太田淳美

**地域包括支援センター**

所長補佐 志田庸子  
(兼)主査 色摩里香  
(兼)主査(兼)社会福祉主事  
渡辺裕和

(兼)主任保健師 渡部真知子  
(兼)主事(兼)社会福祉主事  
嵐正人  
(兼)主事 井上由佳  
(兼)保健師 遠藤悦子  
(兼)保健師 太田淳美  
(兼)主事 嶋貫朋美  
**訪問看護ステーション**  
(兼)管理者

伊藤紀代子  
看護師 高橋浩子  
看護師(嘱託)  
嶋貫玲子  
看護師(嘱託)  
河井祐子

**介護老人保健施設**

事務長 嘉藤正憲  
(兼)主査 後藤智美  
主任看護師 峯村智美  
主任看護師 鈴木優子  
看護師 手塚優子  
主任理学療法士  
井上由香  
作業療法士 木村康之  
療養専門員(嘱託)  
井上民子  
看護師(嘱託)  
吉田江美

**附属中津川診療所**

(兼)事務長  
嘉藤正憲  
(兼)主査 後藤智美  
主任看護師  
渡部みゑ子<sup>(派)</sup>

**総務企画課付**

**町社会福祉協議会派遣**



課長 宇津木耕一<sup>(異)</sup>

**置賜広域病院組合派遣**

主査 志田あちき<sup>(異)</sup>  
主任 佃典子<sup>(異)</sup>

**山形県へ派遣**

主任 井上友和

**山形県後期高齢者医療**

**広域連合へ派遣**  
主事 井上克行<sup>(異)</sup>

**平成24年度  
退職職員**

3月31日をもって次の方々退職されました。カッコ内は前職名です。  
嶋貫吉晴 (総務企画課長)      那須 隆 (会計管理者)  
船山高利 (住民税務課長)      佐藤 健 (教育文化課学校教育振興室指導主事)

NEW STAFF

**平成25年度  
新規採用職員**



保健師 小松聡美<sup>さとみ</sup>  
健康福祉課  
1988年生まれ・椿在住



保健師 伊藤明美<sup>あけみ</sup>  
健康福祉課  
1989年生まれ・長井市在住



主事 嶋貫朋美<sup>ともみ</sup>  
健康福祉課  
1990年生まれ・中在住



主事 鈴木咲<sup>さき</sup>  
総務企画課  
1990年生まれ・長井市在住



主事 後藤浩平<sup>こうへい</sup>  
教育文化課  
1991年生まれ・萩生在住





# 職員はどのように配置されているのか 平成25年度の新体制

施政方針と予算



町長 後藤幸平



副町長 嶋貫吉晴



教育長 佐藤晴樹

各部署の担当業務

職員  
の  
配  
置

施設  
の  
位  
置  
図

## 役場1階

### 会計管理者



山口四郎右衛門(異)

### 住民税務課



課長 鈴木正之(異)(昇)

#### 住民室

- 室長 立石美智雄(異)
- 主査 手塚寿子(異)
- 主事 島貫美里(異)
- 主事 松田典子
- 主事 菅野靖子
- 主事 手塚寿恵(昇)
- 生活環境室**
- 室長 渡部忠善(異)

- 主任 横山昌則
- 税務室**
- 室長 安部信弘(異)
- 主査 大谷部良明
- 主任 遠藤克之
- 主任 井上雄俊(異)
- 主任 長岡佳奈
- 主事 船山泰宏
- 主事 井上優里
- 嘱託 大澤昭弘
- 会計室**
- 室長 鈴木頼子(昇)
- 主事 長岡智子

## 地域整備課



課長 遠藤純雄(異)

#### 建設室

- 室長 渡部和浩
- 主査 上田信幸
- 主任 細谷美佳
- 技師 坂爪稔
- 主事 本間和宏(異)
- 主事 舟山正貴
- 上下水道室**
- 室長 齋藤浩
- 主査 安部吉郎
- 主査 高橋もと子(異)
- 主任 船山智香子
- 技師 伊藤貴広
- 技師 鈴木直記

## 教育委員会 教育文化課



課長 佐藤誠一郎(異)

#### 学校教育振興室

- 室長 古川正次郎
- 指導主事 竹田安路(派)

- 主査 手塚賢太郎
- 主任 小松絵美
- 嘱託 手塚娃子
- 生涯学習振興室**
- 室長 手塚秀幸
- 主事 佐原芳寿
- 主事 後藤浩平(新)
- 子育て支援室**
- 室長 志田政浩
- 主任 五十嵐恵美
- まちづくり室**
- 室長 後藤圭一
- 主任 木村忍(異)
- 主任 渡部賢一(異)
- 主事 二瓶綾(昇)

※まちづくり室は、町民総合センター「あ〜す」内

## 役場2階

### 総務企画課



課長 川崎祐次郎(異)

#### 地域振興担当

- 室長 伊藤勝昭(異)
- 行政管理室**
- 室長 齋藤隆
- 主査 後藤美和子
- 運転長 渡部勇一
- 主任 島貫貴(異)
- 主事 佐藤智昭(異)
- 主事 佐藤祐子
- 主事 鈴木咲(新)

#### 総合政策室

- 室長 高橋弘之(異)(昇)
- 主査 鈴木祐司
- 主査 竹田辰秀
- 主事 鈴木朋恵
- 主事 横澤剛(異)

#### 情報防災室

- 室長 伊藤芳典(異)
- 主査 渡部博一(異)
- 主任 勝見賢太郎(異)
- 主事 嶋貫大地(異)

### 選挙管理委員会事務局

- (併)書記長 川崎祐次郎(異)
- (併)書記 齋藤隆
- (併)書記 後藤美和子
- (併)書記 勝見賢太郎
- (併)書記 鈴木朋恵(異)
- (併)書記 横澤剛
- (併)書記 佐藤智昭(異)
- (併)書記 佐藤祐子
- (併)書記 嶋貫大地(異)
- (併)書記 鈴木咲(異)

### 農林振興課



課長 伊藤毅(異)(昇)

#### 農業振興室

- 室長 山口努(異)(昇)
- 主査 金田正寿
- 主査 伊藤満世子
- 主事 菅野邦彰(異)
- 主事 木村辰司
- 主事 川村俊貴(昇)
- 農林整備室**
- 室長 佐藤秀悦
- 主査 伊藤敏英
- 主査 高橋成樹(異)
- 農地管理室**
- 室長 渡部勢津子
- 主査 竹田裕一(異)

### 農業委員会事務局

- (併)局長 伊藤毅
- (併)補佐 渡部勢津子
- (併)主査 竹田裕一(異)

### 商工観光課



課長 小松一芳(異)

### 観光交流室

- (兼)室長 小松一芳(異)
- 主査 大久保勝(異)
- 主事 本間真紀(異)
- 産業連携室**
- 室長 後藤洋(異)
- 主査 館石修(異)

## 役場3階

### 議会事務局



局長 横澤吉和(異)

#### 議事室

- 主任 宮川千鶴子

### 監査委員

- (併)書記長 横澤吉和(異)
- 監査室**
- (併)書記 宮川千鶴子

### 町民総合センター

- (併)所長 佐藤誠一郎(異)
- (併)室長 後藤圭一
- (併)主任 木村忍(異)
- (併)主任 渡部賢一(異)
- (併)主事 二瓶綾(昇)

### 学校給食共同調理場

- (兼)場長 佐藤誠一郎(異)
- 調理長 島田章久
- 栄養教諭 山口薫(派)

(昇)…昇任 (異)…異動による配属 (派)…関係機関からの派遣 (新)…新採

※上記には、臨時職員は含まれていません

町内小中学校 教職員の異動

the staff of a school

	転 出			転 入		
	職 名	氏 名	新任校名	職 名	氏 名	前任校名
第一小	教諭	樋口哲典	荒砥小(白鷹)	教諭	中村沙織	新採
	教諭	高橋純子	致芳小(長井)	養護教諭	浅田千嘉子	第二小
	養護教諭	遠藤祐子	長井小(長井)			
第二小	校長	高井耕次	西根小(長井)	校長	鈴木正人	小国北部中(小国)
	教諭	金田清二	退職	教諭	小林恭子	荒砥小(白鷹)
	教諭	笹原 寛	興譲小(米沢)	教諭	江口和輝	新採
	養護教諭	浅田千嘉子	第一小	養護教諭	掘 万紀子	大塚小(川西)
手ノ子小	教頭	舩山 泉	蚕桑小(白鷹)	教頭	井上勝見	中津川中
	教諭	黒澤日奈子	東根小(白鷹)	教諭	渡部こずえ	小国北部(小国)
添川小	教頭	浅田道夫	伊佐沢小(長井)	教頭	横澤 敏	東根小(白鷹)
	教諭	竹田安路	飯豊町教育委員会	教諭	大冨太郎	愛宕小(米沢)
	事務主査	高梨善克	三沢西部小(米沢)	事務主査	鈴木多賀子	中津川小
中津川小	教諭	土屋 学	西根小(長井)			
	養護教諭	佐藤浩子	塩井小(米沢)			
	事務主査	鈴木多賀子	添川小			
飯豊中	教頭	土屋賢寿	第二中(高畠)	教頭	八木幸夫	小国中(小国)
	教諭	倉橋雅美	組合専従	教諭	服部宏司	西中(白鷹)
	教諭	吉田 隆	沖郷中(南陽)	教諭	大橋千佳子	東中(白鷹)
	教諭	後藤達也	長井北中(長井)	教諭	小野由美子	東中(白鷹)
	教諭	八木千佳	白鷹西中(白鷹)	教諭	小林保彦	中津川中
	教諭	鈴木教浩	小国中(小国)	教諭	奥山 努	新採
中津川中	校長	齋藤芳昭	吉島小(川西)			
	教頭	井上勝見	手ノ子小			
	教諭	佐原雄子	長井北中(長井)			
	教諭	伊藤喜裕	小国中(小国)			
	教諭	小林保彦	飯豊中			

施政方針と予算

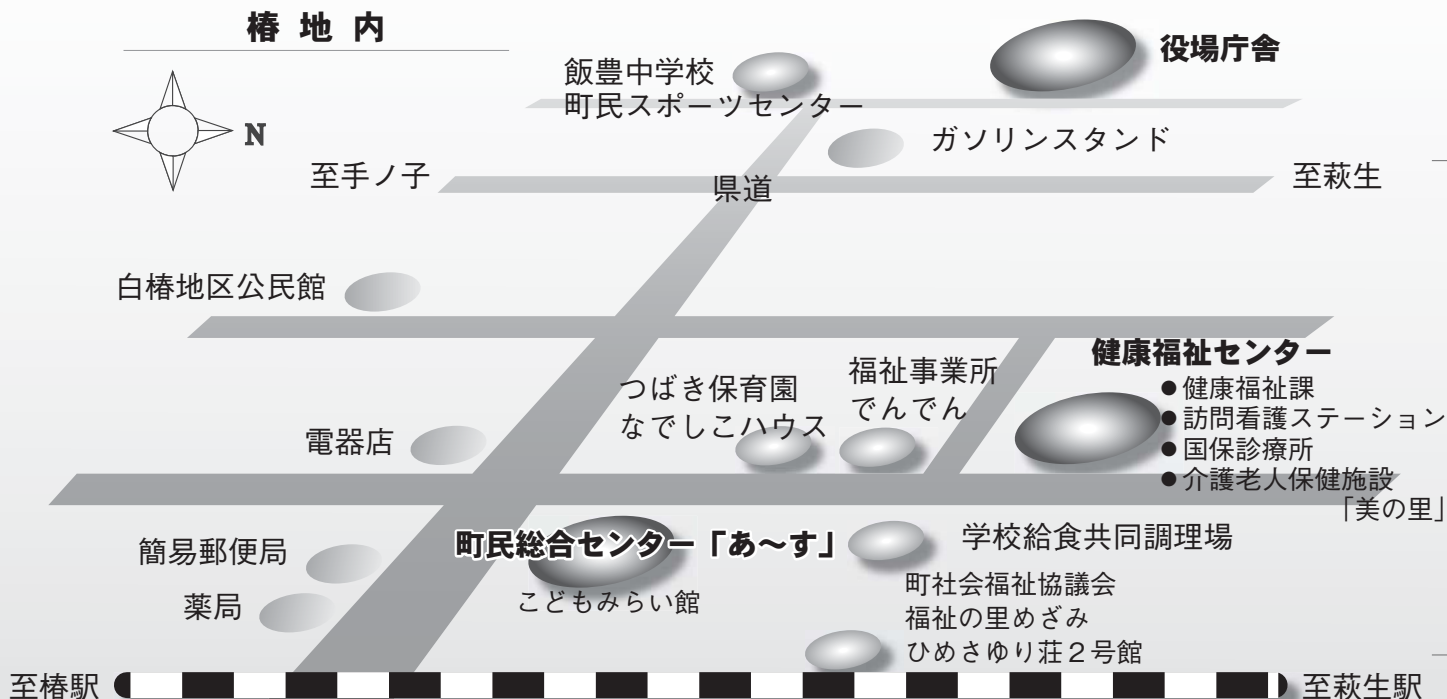
各部署の担当業務

職員配置

施設位置図



施設の位置図



# よし はる 嶋 貫 吉 晴 副 町 長

3月議会の承認を経て、4月1日付けで副町長に就任した嶋貫吉晴副町長に、現在の心境などをインタビューしました



——副町長に就任されての心境をお聞かせください。

嶋貫 身に余る光栄であるとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いです。後藤町長の政策を推進し、人口減少に歯止めをかけたいと思います。

——副町長の職を引き受けた理由をお聞かせください。

嶋貫 42年間の役場勤めで多くの町民の方々にお世話になりました。後藤町長から副町長職のお話をいただいたとき、皆さんに恩返ししたいという気持ちと、私で役立つことがあるならばと決意しました。

——これまでのキャリアで得た経験や知識をどのように生かしたいと考えていますか？

嶋貫 座談会や地区の行事など様々な場で、直接町民の方々から課題や切なる思いを伺ってきました。今後も傾聴の姿勢を保持し、皆さんから寄せられた意見をまとめ上げ、町長に進言し施策に展開していきたいと思えます。

——さらに、役場職員のモチベーションを高めることも私が担うべき役割の一つと考えています。これまで共に働いてきたことは、職員との今後の関係において必ず良い方に作用すると思います。

——優先的に取り組むべき課題は何でしょうか？

嶋貫 人口減少。特に子どもや若者が減っていることです。

——幸い、本町には豊かな自然と美しい景観がたくさんあります。このような環境の中で、子どもを産み育て、暮らしていただける施策の充実が必要だと思えます。誰からも住んでみたい、住んで良かったといわれる住みよい環境を目指し、町長の補佐役として、積極的に定住対策に取り組みたいです。

## Shimanuki Yoshiharu

## 現場で何が起きているか 町民の声に耳を傾ける

——にぎわいを生み出すには。嶋貫 にぎわい創出には若者の存在は大きいと思いますが、にぎわいを生み出せるのは、若者だけではありません。少子高齢化を逆手に取って、高齢者パワーによるにぎわい再現の方法もあると考えています。

——現代の高齢者は、体も気持ちもまだまだ若くバイタリティーあふれる方々です。元気な高齢者が生み出すにぎわいに若者が感化され、若者もにぎわいを生み出すといった連鎖反応が期待できます。若者も高齢者も、にぎわいには欠かせない存在です。

——最後に今後の抱負をお聞かせください。

嶋貫 町民の方々の生活が良くなるように、そして、町民の期待に応えられる役場を目指してまい進します。

しまぬき・よしはる◎飯豊町副町長。  
昭和27年(1952年)7月、中地区生まれ。昭和46年(1971年)飯豊町役場職員となり、平成25年総務企画課長を最後に退職。趣味は温泉とゴルフ。信条は「自分と未来は変えられる」。努力を惜しまないことを大切にしている。妻と父の3人暮らし。中地区在住。

# 飯豊町空き家等の 適正管理に関する条例

この条例は、「空き家」についての所有者や町の責務などを明確化し、所有者などに適正管理を行っていただくことにより、近隣住民などの生命・財産や安全安心な暮らし、そして未来へと継承すべき美しい景観を保全していくことを目的に制定されました。

町内には180戸を超える空き家が確認されており、その半数以上が「使用困難」もしくは「倒壊などの危険性がある」ものとなっています。管理不全な空き家は、風雨や豪雪により急速に老朽化の一途をたどり、老朽危険空き家として放置され、景観を損ねるばかりではなく、倒壊の危険や、子どもたちのへの危険（通学路、遊び場）、火災や防犯上の心配などが問題となっています。

今後、通報などにより空き家が確認された場合、立入調査が行われ、適正に管理されていないと判断された場合は、行政指導として「助言・指導」および「勧告」がなされます。正当な理由がなく勧告に従わない場合は、措置命令が行われ、命令に従わない場合は、所有者の氏名などの公表がなされます。さらに、そのまま放置し、著しく公益に反する場合は、行政が所有者などに代わり解体を含む必要な措置を行います。その費用は全額所有者などに請求されます。

空き家は、あくまでも所有者などの資産です。周辺に迷惑を及ぼすことの無いよう適正に管理くださるようお願いいたします。

## 【条例の流れ】

### ◆町民などからの情報提供

### ◆空き家などの調査

### ◆立入調査

必要と認めるとき

### ◆助言・指導

管理不全な状態にあると認められたとき

### ◆勧告

助言・指導しても空き家等が管理不全な状態にあるとき

### ◆命令

正当な理由なく勧告に従わないとき

### ◆公表

正当な理由なく命令に従わないとき所有者等の住所と氏名、空き家などの所在地、勧告と命令内容、その他必要と認める事項

### ◆代執行

命令に従わず他の手段によって履行を確保することが困難で、かつその不履行を放置することが著しく公益に反すると認められたとき。費用は所有者などに請求

## 【老朽危険空き家とは】

- ・老朽化や風雨雪などの自然現象により空き家が倒壊し、または建築資材などが飛散・剥落し、もしくは落雪により、人の生命や身体または財産に被害を与えるおそれがある状態
- ・空き家に草木が生茂し、または昆虫その他の動物が繁殖し、当該空き家の周辺的生活環境の保全に支障を及ぼすおそれがある状態
- ・建築物の破損、腐食などにより容易に不特定の者が侵入できる状態

## 【それぞれの責務】

### 所有者などの責務

所有者などは、空き家などが管理不全な状態にならないよう、自らの責任において常に適正に維持管理しなければならない。また、空き家施策に協力しなければならない

### 町の責務

町は、空き家などの適正な管理に関する施策を総合的に推進するものとする



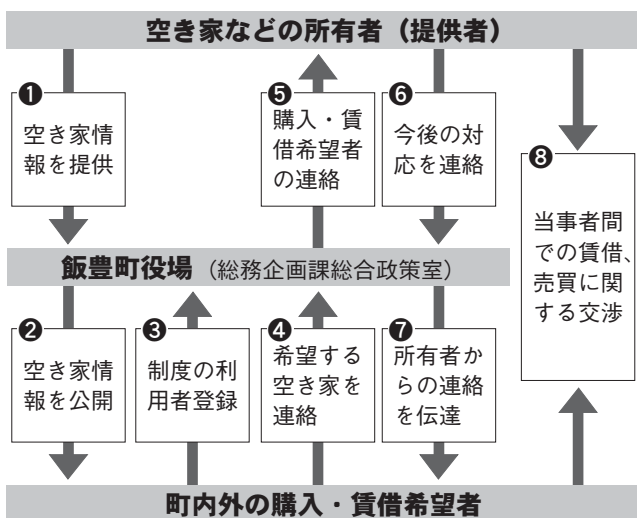
売りたい、貸したい。  
飯豊に住みたい人のために  
情報をお待ちしています。

町では、空き家の有効活用と定住促進を目的に空き家等情報活用制度を行っています。

「空き家を売りたい・貸したい方」と「町内に住みたい方」との橋渡しを、町が行います。所有者（提供者）の方からいただいた物件の情報は、町のホームページにアップして全国に発信します。それを見て、空き家を利用したい希望者があれば、所有者の方に紹介する仕組みです。

物件は、空き家のほか、空き店舗・工場、空き地でもかまいません。まだまだ住める家ならば、無駄にせずに役場に情報をお寄せください！

### 【制度の仕組み】



町のホームページのトップページ

キーワード検索

検索

## ◎老朽危険空き家解体支援事業

老朽危険空き家の解体を支援します

町では、住民生活の安全・安心、生活環境の保全・改善、景観保全を目的に老朽危険空き家解体支援事業を行います。

### 【制度の仕組み】

#### 対象となる空き家

- 町内にある老朽危険空き家で個人が所有するもの
- 物権（抵当権など）や賃借権が設定されていないこと
- 公共事業などで補償の対象となっていないこと

#### 対象となる方

- 老朽危険空き家の所有者、または、所有者の委任を受けた代理人で、解体撤去後の跡地について除草など適正に管理ができる方
- 町税などの滞納が無い方

#### 補助金の額

- 補助対象経費（解体撤去工事）の2分の1以内の金額で、上限は40万円（1,000円未満切捨）です
- 町内の業者に工事を依頼した場合で、解体撤去費が20万円を超える場合10万円を加算します

#### 注意事項

- 補助金の交付決定前に、工事の契約または工事に着手された場合は本補助金の対象となりません
- 今年度は10件程度を見込んでいます
- 第一次申請受付は、6月10日(月)～28日(金)までです。その後、各種調査、現地確認などを行い、審査会にて審査します

※空き家の管理については、解体も含め、所有者が行うことが大原則です。また、建物の解体後は、住宅用地にかかる固定資産税の特例が無くなり、土地の固定資産税などが上がる可能性があります。これらの事項を、まず最初にご了承いただきたいと思います。

事業の実施に際しては、所有者のみならずと個別にご相談しながら進めます。

問合せ先／総務企画課総合政策室 ☎72-2111(内線228)

まちかどニュースは、皆さんの広場です。  
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。  
役場総務企画課情報防災室まで ☎72-2111内線232



### 飯豊町少年少女合唱団「ミルキーウェイ」コンサート

## 明るく弾む歌声が聴衆を魅了

3月20日、あ～すで、飯豊町少年少女合唱団「ミルキーウェイ」のファーストコンサートが行われました。同合唱団は平成23年に結成され、幼児から高校生まで27名が所属（3月末時点）。この日は、これまでの練習の成果を、合唱とオリジナルのボディーパーカッションなど多彩な演出で表現しました。およそ20曲を精いっぱい歌い上げた子どもたちに、会場からは大きな拍手が送られました。また、コーラル・ド・めざみと長井高校音楽部が、賛助出演しました。

### 地域の方に感謝の会

## 6年間見守ってくれてありがとう



3月5日、手ノ子小学校で、これまでお世話になった地区の方へお礼の気持ちを伝えるための「感謝の会」が行われました。同会は、卒業を前にした6年生が毎年開催し、今年は西部地区公民館職員や登下校の見守り活動をしている祖父母ら、計9名が招かれました。児童から地区の方一人ひとりに感謝の手紙が読み上げられた後、手づくりのお菓子を一緒に食べながら、6年間の思い出を語り合いました。

### ひこうきのお話と紙ヒコーキ教室

## 必要なのは紙1枚



3月3日、東部地区公民館で、飯豊町青少年育成町民会議や飯豊町公民館連絡協議会などの企画で「ひこうきのお話と紙ヒコーキ教室」が行われました。午前・午後の部を合わせて63名が参加。実際に紙を折りながら、講師の日本折り紙ヒコーキ協会主任指導員から、距離用と滞空時間用の紙飛行機の折り方や飛ばし方を学びました。参加者は、完成した愛機の飛び具合を確認しながら、微調整を加えては何度も飛ばしていました。



## 中長生会わらじ作り

## 手づくりわらじで祭りを下支え

3月10日、中公民館で、老人クラブ中長生会（伊藤幸雄会長）によるわらじ作りが行われました。初めたきっかけは、地域の若者が獅子舞で履くわらじを手に入れるのに苦労していると聞いたこと。この日は会員18名が参加。女性が縄をない男性がわらじに仕上げる分担作業で、50足を作り上げた。さらに、手慣れた会員が自宅でも50足を作り上げた。「若い衆から『履き心地もよく、丈夫なわらじだ』と言われると作ったかいがあります」と伊藤会長は話します。

## 合同就職面談会

## 求職者と求人企業をマッチング



3月7日、あ～すで、飯豊町地域雇用創造推進協議会主催による「合同就職面談会」が行われました。当日は、西置賜地域に本社または就業場所を構える企業27社（うち町内企業12社）から114人の求人があり、これに対して求職者96人が来場。会場には企業ごとにテーブルが設けられ、求職者一人ずつ個別に面談が行われました。協議会の事後調査によると、15名の就職が決まったとのこと。

## 「飯豊町商店街」報告会

## “飯豊”を売り込む商店街



3月14日、あ～すで「飯豊町商店街」の報告会が行われました。同商店街は、飯豊町ブランド向上委員会（事務局は町観光協会）が立ち上げたインターネット内の物販サイト。現在9社1個人が出店し、139の品揃え。この日は、出店5社が参加して、事務局とサイト構築業者からこれまでの実績やインターネット上での評価などの説明を受けた後、さらなる売上げ向上や実店舗への集客など今後の発展的な展開方法について意見を交わしました。



## スノーランドファイナル2013

## わくわく、夜の滑り台

3月2日と3日に、飯豊少年自然の家で、「スノーランドファイナル2013」が行われました。1月13日から団体向けに行っていた雪遊びや冬の自然体験活動の締めくくりとして行われたもの。両日合わせて町内外から約130名が参加し、チューブ滑りやスノートレッキングなどを楽しみました。初日のチューブ滑りは夜に行われ、投光器の明かりに加えろうそくが灯されたコースを、参加者たちは歓声を上げながら何度も滑り下り、最後の雪遊びを楽しんでいました。

# まちかど



## スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します

3/5~20



町内園児の手作りひな人形展示  
(物産館)

3/1



山形おきたま農業協同組合から「TPP  
交渉参加反対」に関する要請 (役場)

3/14



山形県立置賜農業高等学校飯豊  
分校生が謝辞に来庁 (役場)

3/7



飯豊町議会から「みなさんと語  
る会」の報告 (役場)

3/6



かもしかクラブ事後検討会  
(あ〜す)

3/16



にぎわい再現プロジェクト委員  
会活動報告会 (東部地区公民館)

3/16



こどもみらい館利用者5万人感  
謝の集い (こどもみらい館)

3/16



中津川ふるさと長期山村留学修  
了式 (中津川地区公民館)

3/19



販売拡大ワークショップ  
(あ〜す)

3/18



心の古里いいでフォトコンテ  
スト審査会 (農家茶屋いろり)

3/18



集客戦力セミナー  
(健康福祉センター)

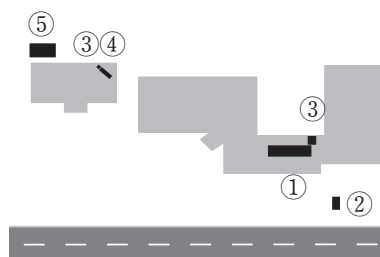


# 防災機能強化と地球温暖化対策への取り組み

道の駅「いいで」・めざみの里観光物産館は、東北地方でも有数の交通と観光拠点であるとともに、災害時には、ドライバーなどの一時避難所や支援車両の基地、情報発信拠点などとして重要な役割を担います。

このたび、道の駅「いいで」・めざみの里観光物産館の防災機能を強化し、併せて自然エネルギー導入による地球温暖化対策の推進を図るため、山形県と国土交通省の支援を受け、次の設備を整備しました。

設置位置図



## ◎ めざみの里観光物産館へ自然エネルギーなどの設備を設置

### ○太陽光発電設備・電気自動車用急速充電器

山形県市町村防災拠点再生可能エネルギー導入促進事業の補助を受け、次の設備を設置しました



#### ①太陽光発電設備

- ・物産館南側屋根に設置され、出力は11kW
- ・電力はリチウムイオン電池に蓄電し、停電時に利用
- ・蓄電量を超えた余剰電力は、物産館の常用電力として利用



#### ②電気自動車用急速充電器

- ・物産館北側の駐車場に設置され、出力は20kW
- ・約50分の充電時間で80%の充電が可能
- ・1回500円の協力金が必要です

## ◎ 道の駅「いいで」に防災拠点化設備完成

### ○情報提供装置・災害時支援電話・発動発電機

国土交通省山形河川国道事務所により、次の設備が設置されました



#### ④災害時支援電話

- ・有事の際に固定電話や携帯電話の利用が制限される場合があります。この電話は、そのような状況でも利用可能です

#### ③情報提供装置

- ・タッチパネル式の大型ディスプレイで、道路情報館と物産館に1基ずつ設置されました
- ・表示内容は、通行規制、カメラ映像などの道路情報、レーダー雨量状況、高速道路情報、地域の観光情報や防災情報などです



#### ⑤発動発電機(建屋)

- ・停電時に道路情報館と水洗トイレを3日間稼働できます
- ・出力は20kVA。道路情報館裏に設置されました

## 直伝おふくろの味



# 鳥つみれ山椒入り鍋

かぐわしい香りとピリリとした風味  
さんしろう

## 【材料】（4人分）

- ◇+鳥ひき肉 100g
- ◇材料もち粉 30g
- ◇ご白玉粉 25g
- ◇だんごボウ・ニンジン・玉ネギ 100g
- ◇+シヨウガ 少々
- ◇砂糖 小さじ1杯
- ◇しょう油 大さじ5杯
- ◇みりん 小さじ1杯
- ◇味噌 小さじ1杯
- ◇酒 大さじ1杯
- ◇カツオ節・いりこだし 少々
- ◇お好みの野菜 100g
- ◇お好みのキノコ 100g
- ◇山椒の実 適宜
- ◇ニンニク 3片
- ◇水 700cc

## 【作り方】

- ①電子レンジで5分間加熱した鳥ひき肉、もち粉、白玉粉、みじん切りにしたゴボウ・ニンジン・玉ネギ・シヨウガを混ぜ合わせる。
- ②①を一口大に丸めて水を入れた鍋でニンニクと一緒に10分ほど煮る。
- ③②に、食べやすい大きさに切った野菜とキノコを入れ、砂糖、しょう油、みりん、味噌、酒、カツオ節、いりこだし、すり潰した山椒の実を入れて10分ほど煮たら出来上がり。



添川地区  
食生活改善推進員  
伊藤ヨツ子さん

## 食材のおいしさ引き出す日本のハーブ

この料理は、ご近所の方から教わった鳥肉だんご鍋を、私なりにアレンジしたものです。

特徴は、具材にいろいろな野菜とキノコを使うことと、調味料に山椒を用いることです。山椒のさわやかな香りと酸味を帯びた辛さによって、さっぱりとした味に仕上がります。さらに、野菜やキノコ、鶏肉などの食材のおいしさが、際立つような気がします。

また、山椒は、胃腸の働きを整えたり冷え症の改善に効果があるとして、漢方薬の材料や民間療法に用いられています。

先人たちが見つけ出した山椒の良さを、多くの人に知ってもらいたいと思っています。ただし、お子さんには、少々刺激的な味かもしれません。



こどもみらい館の予定表  
(4月・5月の日程)

4月18日(木) 10:30～	栄養士さんの指導
24日(木) 10:30～	かんがる一広場
25日(木) 10:30～	親子交通教室
26日(金) 10:30～	ほのぼの講座
5月8日(木) 10:30～	おはなし広場
11日(土) 10:30～	ブックスタート
15日(木) 10:30～	あそびの広場・避難訓練
17日(金) 10:30～	保健師さんの指導

「こどもみらい館」をご利用ください

幼児や児童生徒の遊び場、子育て仲間の交流の場として気軽にご利用ください。一時保育も行っています。

episode

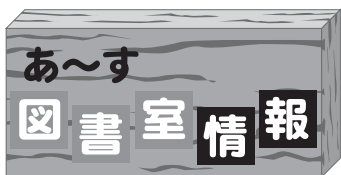
子育て応援  
kosodate  
ouendan 談

育児は母からの愛情リレー  
「大きくしたい心の根っこ」

子育て奮闘中の方は、「なんて親は大変なんだろう」と思うことが多いのでは？ 親になって初めて自分の親が苦勞して育ててくれたありがたみを感じます。精一杯育ててくれたからこそ、今の自分があります。愛情をたっぷり注いでもらったからこそ、自分も我が子に愛情を注げます。私は、親に聞いたことがあります。「どんな風に育ててくれた？」と。すると、母は「勝手に育ててくれた」と答えます。でも、長い時間をかけて、心の根っこを育ててくれたのだなあと思っています。私はこの言葉が好きです。【育児は厳しくしたり、優しくしたり、しかし、いつも根っこは「愛」。愛の中で育った子は幸せです】いくら仕事や家事で忙しくても、愛情を注ぎ、心の根っこを大きく丈夫なものにしてあげたいものですね。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日  
利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の  
おすすめ図書



児童図書

こぎつね いちねんせい

斉藤洋/作 にしまゆ/絵  
あかね書房

こぎつねは小学校に行きたくなりました。人間に化けて、お守りを首から下げて、行ってきまーす！ 小学校ってどんなところでしょう？ 学校に行くのが楽しくなるお話です。



児童図書

かくれんぼ どうぶつえん

今森光彦/切り絵 石津ちひろ/文  
アリス館

ぼくたちだれかわかるかな？ ながい鼻だあれ？ 首がながいのだあれ？ ぴょんぴょんはねるのだあれかな？ 切り絵の動物たちがかくれんぼする絵本です。



一般図書

一路上

浅田次郎/著 中央公論新社

小野寺一路、19歳。父の不慮の死を受け、お供頭を継いだ若者は、家伝の「行軍録」を唯一の手がかりに、江戸への参勤交代の行列を差配する。上下、2巻。



一般図書

親子で楽しむ  
12カ月のキッズイベント

辰元草子/著 講談社

お正月、ひな祭り、イースター、ハロウィン、クリスマス…。一年中楽しめる、おしゃれですてきなパーティーを月ごとに提案。楽しいパーティー料理や室内の飾り方などを紹介します。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

# ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



歌唱・舞踊

## 東部歌謡舞踊愛好会

- ◆会長／遠藤謙一さん(添川)
- ◆会員数／12名
- ◆練習／基本的に会員各自で練習。発表が近づくと会員の都合に合わせて合同練習
- ◆会員募集対象  
年齢・性別・住所を問わず誰でも

●東部歌謡舞踊愛好会への入会・体験などのお問い合わせは、遠藤謙一会長まで ☎74-2318

### ◆ピーアール

東部歌謡舞踊愛好会は、平成19年に東部地区にあった小規模な団体を統合して設立されました。名前のおり歌と踊りをミックスした演技が特徴。歌い手と踊り手がペアになり、歌に合わせて踊ります。地区の文化祭や敬老会、町内介護施設や温泉施設などで披露しています。置賜地域の歌謡・舞踊愛好者の集いで歌舞を披露したことがきっかけで、4名の町外者が入会しました。「歌と踊りはそれぞれでも見応え聴き応えはありますが、掛け合わせると相乗効果で歌詞の世界観をありありと表現できます」と遠藤会長は話します。



遠藤さんにとって歌謡舞踊とは…  
**仲間も、自分も、お客様も、みんなが楽しめる掛け算の結果**

◀遠藤謙一さん

## 「風花」

連載  
随想

町長の思つ歩き 45

後藤 幸平

「風花」という言葉をはじめて耳にしたのは、二十五年ほど前だっただろうか。静岡で教職にある親友の妻が闘病の末に他界し、お別れ会の席上だった。「彼女が愛した川べりに風花の舞うとき、天に昇っていきました」と悲しみをこらえての挨拶だった。風花が晴れた冬空に舞う「雪」を意味することは後で知った。日本海側の豪雪地帯から山脈を越えて群馬や静岡に降る雪を指し、その地方ではよく使う言葉だという。

雪の種類は何通りあるのだろうか。新沼謙治の代表曲に「津軽恋女」があり、津軽の雪には「七つの雪」があると歌っている。「こな雪、つぶ雪、わた雪、さらめ雪、みず雪、かた雪、春待つ氷雪」。実はこの「七つの雪」には別に典故がある。新沼謙治を遡ること四十年余り、太宰治の作品『津軽』の冒頭に「七つの雪」のことが記されている。「津軽の雪、こな雪、つぶ雪、わた雪、みづ雪、かた雪、さらめ雪、こほり雪（東奥年鑑より）」とあるのである。太宰にして「津軽」を語るときに千変万化

の雪を述べずしてはペンを進めることは出来なかつたのだろう。

飯豊の春は黒沢方面からやつてくる。長井市との境の坪沼辺りから雪が解け始め、田んぼの段差一枚ずつ徐々に西南の方角に向かって稲穂と田面が現れる。このころ手ノ子、高峰、中津川方面はまだ一メートル以上の積雪である。これほどの違いがあったことを改めて気付かされるのだ。自然は時に過酷であり、人に平等とは言えない。満八十五歳になつた母が、彼岸から七回荒れる、本当の春はそれからだ、とぼつりと言つた。初雪の朝、跳び上がって喜んだ子どもたちもこの季節になると、土の匂いを探し始める。

三月二十三日、中津川小中学校の閉校記念式典が行われた。「学びの証」が、児童、生徒に手渡されて、挨拶に立った姿に皆胸を打たれた。中津川に生まれ、学んで、雪深い地域に光を燈す生き方をしたいという。たしかに雪は冷たく重い。しかし、風花は人を慰め、積雪三メートルの中津川の雪は人を育てる。

Karte 22

## 健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。

## 今月の テーマ

・朝ごはん

・ひざ痛



### 忙しいときこそ朝ごはん

町の健康づくり計画を策定するために実施した健康と生活習慣に関するアンケートの結果から、20〜70歳代の方で13.1%の方が朝食を欠食していることがわかりました。特に欠食率が高いのは、30歳代の男性で、31.0%の人が朝ごはんを食べていないのです。

朝食は、体を夜間のお休みモードから日中の活動モードに切り替える作用があります。朝ごはんは、体にとって1日を元気にスタートさせるための原動力。朝食を抜くと、頭も体もきちんと働きません。忙しいときこそ、朝ごはんをしっかり食べることが大事です。

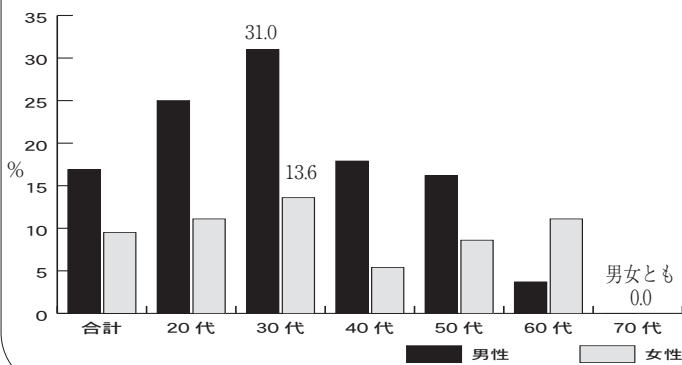
### 朝食を食べないとどうなる？

ヒトの体には時計遺伝子があり、朝の光と朝食を摂ることでズレを調整しています。朝食を抜くことは、食事によって整えられる生活リズム（体内時計）が乱れ、夜型生活が定着したり、太りやすい食習慣がついてしまうことにつながるというわれています。食事は健康づくりの要といえます。

さらに問題なのは、朝食を食べないことが習慣になっている人の場合、1日2食で必要な栄養素をすべて満たさなければならなくな

ります。しかし、現代人の一般的な食生活は、3食を食べていてもビタミンやミネラル、食物繊維の不足が深刻化しています。カロリーだけならば、昼ごはんの量を増やしたり間食の回数を増やせば補うことは可能です。しかし、必要な栄養素を満たすことは大変困難です。その理由は間食のときに、野菜を中心に食べる人は少ないからです。不足しがちなビタミンやミネラル、食物繊維を摂取するには、朝ごはんを欠かさず、毎回の食事で野菜をしっかりと摂るよう心がける必要があります。

### 朝食の欠食率



### ひざ痛を解消しましょう

ひざ痛は高齢者には身近な症状ですが、年だからとあきらめて放置すると、閉じこもりや転倒など心身の機能低下につながります。簡単な運動をして少しでもひざ痛を解消しましょう。なお、ひざや腰に強い痛みや持病のある方は、医師などの意見を聞いてから始めてください。

### ◆ひざ痛・腰痛自己チェック

※一つでも該当すれば要注意

○掃除機の使用や布団の上げ下ろしなどの家事が困難

○重い物(2kg程度)を持ち帰るのが苦しい

○手すりにつかまらないう階段が上れない

○家の中でよくつまずいたり、すべったりする

○片足立ちで靴下をはけない

○15分くらい続けて歩けない

◆効果的な運動

○足踏み/いすに座り、足踏みを繰り返す。片方の脚10〜20回ずつ、2セット。ただし、脚を高く上げすぎたり回数が多すぎたりすると腰痛を招くので無理はしない。

○ひざの曲げ伸ばし/ひざを90度に曲げていすに座り、45度までの範囲でひざを伸ばす。片方の脚10〜20回ずつ、2セット。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

## 民間の国際交流団体を支援します

公益財団法人山形県国際交流協会は、県内の民間団体が行う地域の国際化を推進する事業に対し助成を行います。

### ◆対象団体

- 民間団体であること
- 団体の所在地が県内にあること
- 国際交流、国際協力、国際理解の推進などを通じた地域づくりを目的としていること
- 規約などにより、団体の目的、組織、代表者などが定まっていること
- 原則1年以上の活動実績があること
- 非営利、非宗教、非政治の団体であること

### ◆対象事業

- 県民と在住外国人との交流事業
- 在住外国人を対象とした日本語指導に関する事業
- 国際的視野を備えた人材育成のための事業
- 県民に海外の優れた文化などを紹介する各種講演事業

など

◆助成金額／1団体上限20万円

### ◆要件

- 4月1日から平成26年3月31日の間に行う事業であること
- 渡航費のみの申請、波及効果が低いと判断される経費は対象になりません
- ※その他の詳細は下記に問い合わせ

### ◆申請方法

必要書類を添えて下記まで申請

◆申請期限／6月15日(出)

### ◆申請・問合せ先

公益財団法人山形県国際交流協会

☎023-647-2560

http://www.airyamagata.org/

## 住宅リフォーム支援事業のお知らせ

住宅のリフォーム工事や耐震改修工事などに対し、町から補助金を交付します。

### ◆対象

- 自らが居住する持家住宅のリフォーム工事
- 町で定めた一定の要件を満たす工事
- 国で定められた一定の指標に基づき行う住宅の耐震改修工事

※対象工事の例…耐震壁・断熱材の設置、屋根の軽量化、ペレットストーブの設置、床の段差解消など

### ◆補助の要件

- 町内に住所を有し、自ら居住する住宅のリフォームを行うこと
- 県内に本社または支店を有する建設業者と契約し、工事を施工すること
- 申請者および生計を共にする家族に町税などの滞納がないこと
- 申請前に工事を着工していないことなど

### ◆補助の内容

◇リフォーム工事

①町内業者が施工  
補助率20%で最大40万円

②町外業者が施工  
補助率15%で最大30万円

◇耐震改修工事  
補助率50%で最大120万円

※事前にお問い合わせください

◆決定方法／補助は予算の範囲内で行われ、先着順となります

◆申込方法／指定の様式に必要書類を添えて下記まで申し込み

### ◆申込・問合せ先

役場地域整備課建設室

☎72-2111内線158

## 部落などで管理する防犯灯をLEDに更新しませんか

町では、省エネルギーと維持費の軽減を目的に、部落などが管理する防犯灯をLEDに更新する際の経費を補助します。

◆対象団体／町部落長等会を構成する部落・自治会・地区

### ◆内容

既存の防犯灯をLEDに更新する経費に対し補助

### ◆補助金額

経費の2/3以内。または器具の大きさに応じて20,000円～35,000円を補助

◆要件／1団体、年間5灯まで

### ◆申請方法

指定の様式に必要書類を添えて下記まで申請

### ◆その他

補助金の3/4を上限に概算払いも可

※そのほか詳細は町HPに掲載

### ◆申請・問合せ先

役場住民税務課生活環境室

☎72-2111内線131・132

## 困ったら一人で悩まず行政相談

4月1日付けで総務大臣から五十嵐眞さん(手ノ子)が当町担当の行政相談委員に委嘱されました。

行政相談委員は、役所の業務に対する苦情、要望、意見などの相談を住民の皆さんから受け、相手機関の改善が促されるよう働きかける仕事をしています。

### ◆委嘱期間

4月1日～平成27年3月31日

◆問合せ先／総務省山形行政評価事務所 ☎023-632-3113

こせきのまど  
**戸籍の窓**

(3月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名  
 (小国町 舟山弘 幸さん  
 椿 佐原ル ミさん)

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親  
 黒沢 木村 小春ちゃん (正 文  
 さおり 莉  
 添川 阿部 潤平くん (貴 文  
 恵 莉  
 添川 中村 凌菜ちゃん (安 之  
 真 代  
 萩生 齋藤 穂斗くん (良 樹  
 里 美  
 白川 五十嵐 琉生くん (信 吾  
 愛)

心からおくやみ申し上げます

住所 氏名 年齢  
 萩生 町上 朝倉 よしさん 86  
 椿 椿第一 船山 ツネさん 81  
 岩倉 後藤 さつさん 93  
 黒沢 谷地田 佐藤 昭三さん 82  
 添川 下町 高橋 眞之助さん 57  
 萩生 中ノ舘 山口 みよ子さん 92  
 高峰 西向 小川 忍いさん 96  
 上原 横山 茂美さん 75  
 黒沢 旭 佐藤 たつさん 94  
 中 北酒町 大谷部 恂さん 87  
 高峰 東向 井上 久助さん 87  
 黒沢 坪沼 渡部 京子さん 71  
 添川 大旦 船山 敬一さん 87  
 手ノ子 町下 松山 きみのさん 89  
 手ノ子 萩 高橋 オトヨさん 82

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		3月分 ( ) 内は対前月比			
世帯数	2,402 ( 0)	転入	29		
人口	男	3,866 (-17)	転出	62	
	女	4,089 (-27)	出生	5	
計	7,955 (-44)	死亡	16		

山形県看護協会  
健康まつり

- ◆日時 / 5月18日(出) 10:00~15:00
- ◆会場 / 山形県看護協会会館(山形市)
- ◆内容
  - 血圧、体脂肪、骨密度、アルコールパッチテストなど健康チェックと相談コーナー
  - 高齢者・妊婦擬似体験、赤ちゃん触れ合いなど体験コーナー
  - 看護への道進路相談
  - 講話「笑いヨガ」、「介護を受けない体づくり」、「健康な生活のための食事」(試食あり)
  - 白衣を着ての記念撮影
  - 幼児が描いた看護師さんの絵画展示 など
- ◆参加料 / 無料
- ◆問合せ先 / 社団法人山形県看護協会 ☎023-685-8033

「きもの」に関する  
無料講座など

- 財団法人民族衣装文化普及協会では、日本の伝統文化でもある「きもの」を後世に伝承するため「着物総合インストラクター養成講座の説明会」と「着付け無料体験講座」を開講します。
- ◆日時  
「養成講座の説明会」と「着付け無料体験講座」は、同日同会場で開催  
5月15日(水)、5月29日(水)  
10:30~、14:00~、18:30~
  - ◆場所 / 三條かの記念館(米沢市)
  - ◆対象 / どなたでも
  - ◆参加費 / 無料
  - ◆申込・問合せ先 / 財団法人民族衣装文化普及協会・山形教室 ☎0120-029-315

裁判所見学会の実施

- 憲法週間(5月1日~5月7日)にちなみ、裁判所見学会を開催します。
- ◆日時 / 5月13日(月) 13:10~16:00
  - ◆場所 / 山形地方・家庭裁判所米沢支部
  - ◆内容 / 裁判手続説明、裁判員制度説明、法廷見学など
  - ◆対象 / どなたでも(申込み先着20名)
  - ◆参加費 / 無料
  - ◆申込・問合せ先 / 山形地方裁判所米沢支部庶務課 ☎0238-22-2165
- 米沢年金事務所内の  
全国健康保健協会窓口の廃止**
- 米沢年金事務所内の全国健康保健協会(通称「けんぼ協会」)の窓口が6月28日をもって廃止されます。7月以降の健康保健の給付、任意継続、健康診断関係につきましては、郵送で申請ください。
- ◆問合せ先  
全国健康保健協会山形県支部 ☎023-629-7225

羽前椿駅と町観光協会の  
電話番号が統合されます

- これまでご利用いただいていた羽前椿駅の電話番号が、5月1日から町観光協会の電話番号と統合されます。5月以降の乗車券などのご予約は町観光協会までお電話ください。
- なお、列車運行情報につきましては、JR東日本お問い合わせセンターにお問合せください。
- ◆問合せ先  
○飯豊町観光協会(羽前椿駅舎内) ☎86-2411  
○JR東日本お問い合わせセンター ☎050-2016-1600

◇引き続き今年度も広報担当になりました。よろしくお願ひします。▽先日、ある武典で「編集後記」を毎回読んでいたという方に出会いました。少し恥ずかしくも、うれしいお言葉でした。改めて、昨年度中の編集後記を読み返してみると、「そうだったな」と、こんなことがあったな」と、その当時の事がよみがえってきました。わずか200文字程度のコーナーですが、毎号、題材を何にするか悩みながら書いています。前述の方には、うれしいお言葉とともに、今月号の題材をいただきました。感謝です。(かつみ)



本コーナーでは、町・県指定の文化財や史跡、天然記念物などについて、所有者や管理者などのインタビューと共に、詳細な解説を掲載してきました。

平成22年10月号から始まった本コーナーは先月号で30回を数え、開始当初に掲載を予定しておりました「町宝」は、すべて紹介いたしました。

実際に現地を訪れて町の誇るべき宝をご覧になっていただきたく、今回から3回シリーズで所在地図（略図）と共にダイジェスト版でご紹介いたします。

第1回目は中地区と萩生地区です。



絵馬「間引図」 平成24年4月掲載



萩生地内 諏訪神社神輿渡御行列 平成24年9月掲載



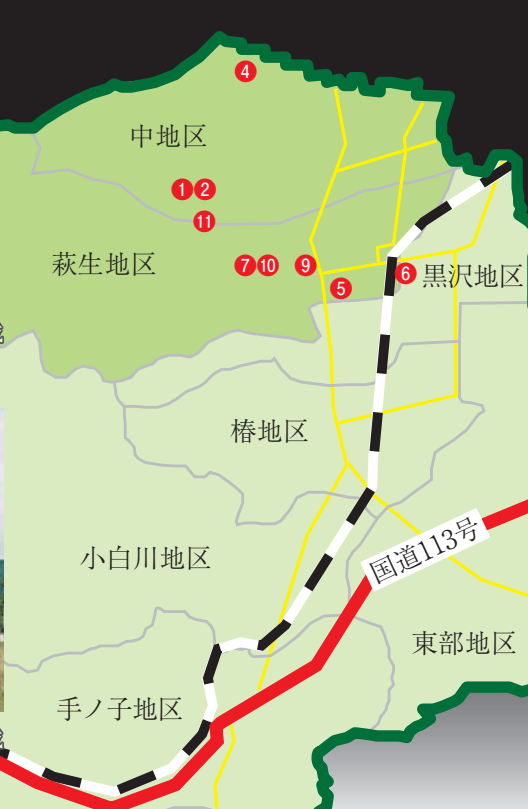
萩生石箱遺跡 平成24年11月掲載



萩生城社本丸土塁・水濠 平成25年2月掲載



中村原土壇 平成25年3月掲載



天養寺観音堂 木造聖観音立像 平成23年1月掲載



天養寺観音堂 絵馬草摺挽図、神人曳馬図 平成23年4月掲載



大面幢（六角地蔵） 平成23年8月掲載



中獅子踊り 平成23年10月掲載



木造僧形八幡神像ほか二軀 平成24年1月掲載



中若宮八幡神社社叢 平成24年12月掲載